

超高齢社会の 地域課題に学ぶ ～地域ニーズのケーススタディ～

福岡100

人生100年時代の
健康社会モデルをつくる
100のアクション

3/5(月)

13:30～16:30

高齢化が進む中、地域社会では独居高齢者の孤立や買物難民など、生活に密着した課題が生じてきています。介護・福祉の分野では、住みなれた地域で最期まで住み続けられる地域づくりを目指す「地域包括ケアシステム」の構築に向けた政策が展開され、企業の役割もクローズアップされています。

企業の側では、企業の社会貢献やCSR、地域密着型のビジネスなど、様々な形で地域課題を解決しようとする動きがあります。一方で、これから取り組みたいと考えている企業からは、地域の動きや起きている問題がみえにくいという声も聞かれます。

本セミナーでは、生活支援の実践者・支援者をお招きし、「居場所づくり」「買物支援」「健康づくり」の3つのケースについて、活動プロセスや取組みの課題などを詳しく聞くことで、参加者が地域課題の解決とともに、自社資源を発見するヒントを得られることを目的としています。

日時：2018年3月5日(月) 13:30～16:30

場所：福岡市スタートアップカフェ

(福岡市中央区大名2-6-11 (旧大名小学校跡地))

定員：30名 ※応募多数の場合は抽選となります。

参加費：無料

■プログラムの内容

①全体プレゼンテーション

- ・超高齢社会と地域包括ケアにおける取組の状況について

②3つのテーマの共有

③テーマ別グループディスカッション

- ・活動プロセスを知る
- ・取組課題を整理する
- ・自社資源を発見する

④全体共有と専門家からのコメント

※終了後、その場で簡単な交流会を予定

■ケース提供者

《居場所づくり》

浦田 一延氏 株式会社ダイキョープラザ・弥永店店長
店頭を毎月1回地域住民主催のカフェに会場として開放。校区の祭りへの協賛、交流の場となるようなイベントの開催など、地域活動を積極的に実施。

《買物支援》

古賀 匡郁氏 株式会社飛鳥 飛鳥会館・代表取締役
「地域の力になりたい」と考え、丘陵地の買い物に困る高齢者を対象に、葬儀のない日等にマイクロバスを買物支援バスとして運行。

《健康づくり》

松尾 早苗氏 株式会社九州第一興商・音楽健康指導士
公民館などで「健康づくり教室」を開催。脳や口腔、運動機能を向上させる音楽・体操プログラムを独自に開発。

セミナー参加お申込用紙

必要事項をご記入のうえ、

下記の担当者まで FAX, 又は e-mail・お電話でお申し込みください。

福岡市社会福祉協議会 地域福祉課 担当：栗田、吉田、長塚

TEL：092-720-5356

FAX：092-751-1524

e-mail：chiiki@fukuoka-shakyo.or.jp

企業名	
お電話番号	
メールアドレス	

	ご部署・役職	お名前
参加者①		
参加者②		
参加者③		